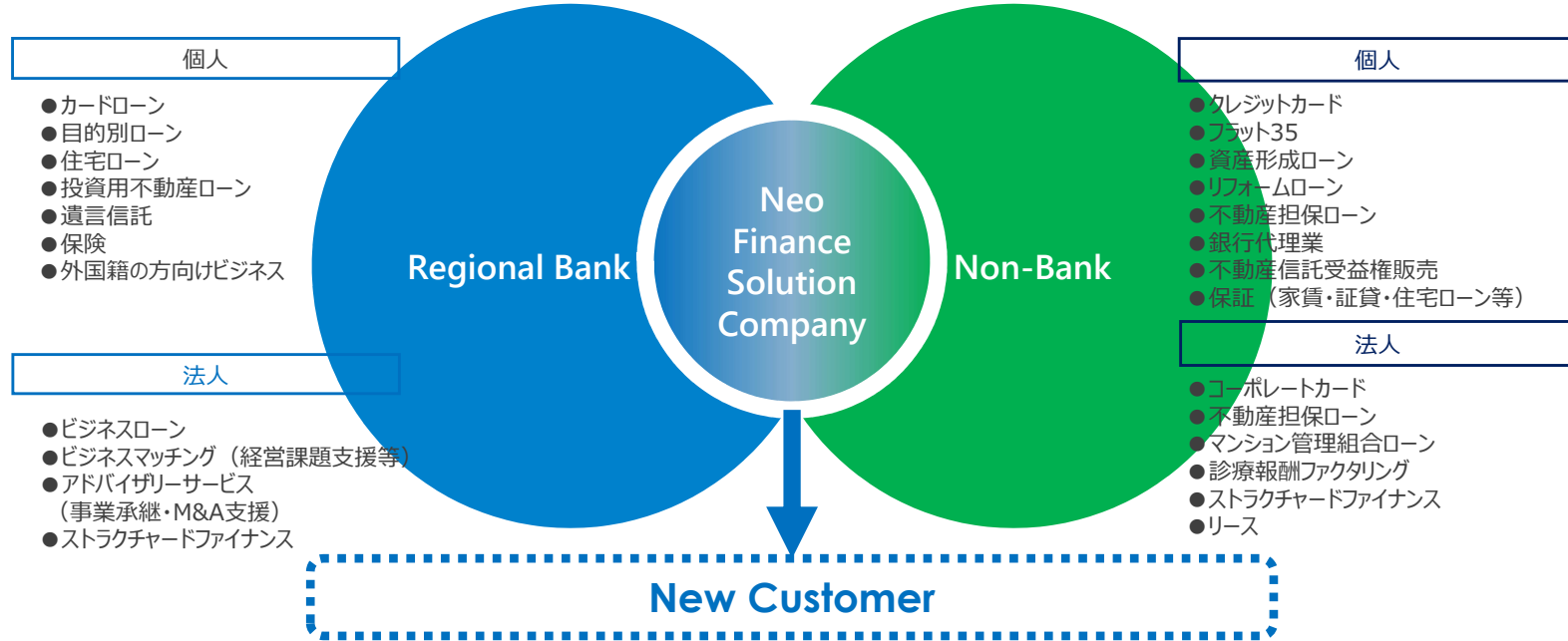




# 株式会社クレディセゾンとの資本業務提携

## 両社だから目指せる姿

両社のリテールノウハウを最大限活用し、シームレスに連携することにより、あらゆる「困りごと」や「不」を起点としたこれまでの金融機関のイメージを超えた“Neo Finance Solution Company”を創造する。



## 資本業務提携の概要

### 1. 資本提携の内容

①当社が、クレディセゾンの株式を取得	普通株式 8,224,700株	(議決権保有割合5.0%)	取得総額 約154億円
②クレディセゾンが、当社の株式を取得	普通株式 35,089,000株	(議決権保有割合15.72%)	取得総額 約171億円

### 2. 業務提携の内容

以下の各施策を実施する

- ①セゾン支店の設立及びクレディセゾンによる銀行代理業の取得  
②セゾンプラチナ・ビジネスカードの共同事業化  
③住宅ローン事業における連携  
④不動産ファイナンスの共同展開
- 上記施策に加え、それ以外の領域での連携についても、協議を進めている。

### 3. 相互取締役派遣

両社の連携を更に深め、また両社それぞれのガバナンス態勢強化に向け、取締役1名を相互に派遣。(派遣取締役：当社社長 加藤、クレディセゾン副社長 高橋)

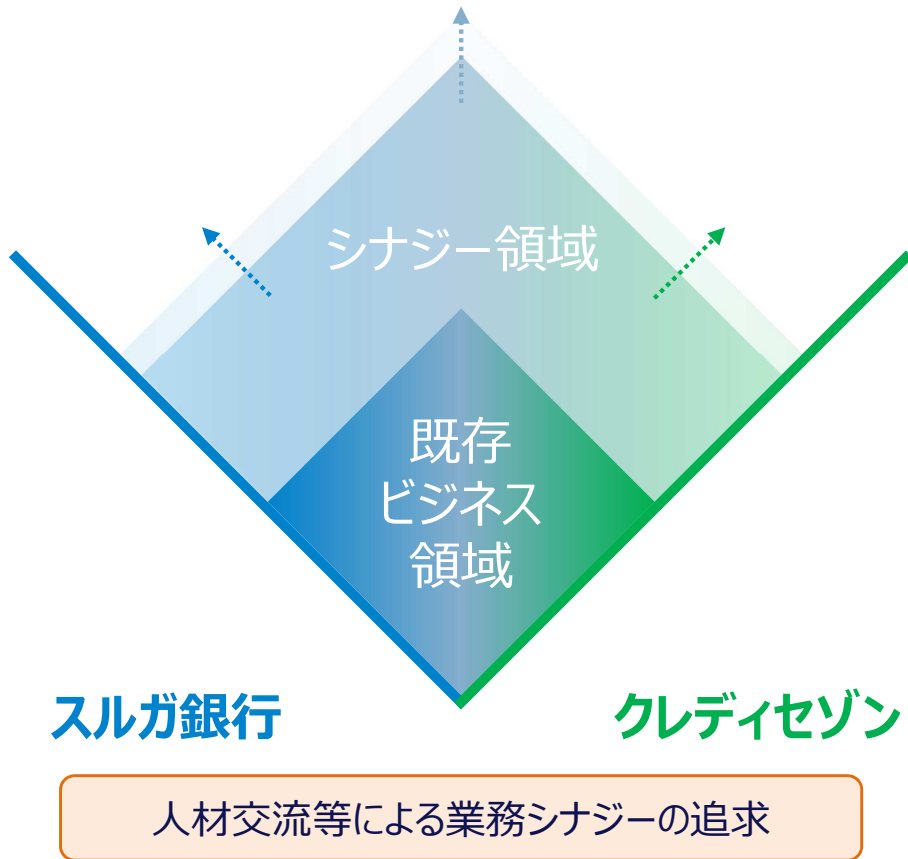
# 株式会社クレディセゾンとの資本業務提携の進捗



## < 目指す方向性 >

両社が協同することで競争力のある商品を新たに開発し、新規顧客開拓を推進。

12月以降も、両社で新たなマーケット向けの商品開発と協業を推進していく



<b>不動産 ファイナンスの 共同展開</b>	<b>2023年11月</b>	<b>住宅ローン事業 における連携</b>	<b>2023年10月</b>
<b>「コラボレーションローン」 の共同提供開始</b>		<b>スルガ銀行で「クレディセゾン 保証付住宅ローン」取扱いを開始</b>	
<b>Non-Bank</b> 「豊富な顧客取引先基盤」 「即時与信、即時取引で培った審査力」		<b>Bank</b> 「顧客との直接対話力」 「カスタムメイドの審査力」	
<b>事業領域合計で、今後5年間（FY23～FY27） 新規ローン実行額 3,500億円以上 を目指す</b>			
<b>セゾンプラチナ ビジネスAMEX カード共同事業化</b>	<b>2024年春 (予定)</b>	<b>スルガ銀行 セゾン支店の設立</b>	<b>2024年夏 (予定)</b>